

令和7年度八千代スポーツ推進審議会 議事録

1. 開催日時 令和8年1月30日（金）  
14時00分開会 15時40分閉会
2. 場所 八千代市教育委員会庁舎2階 大会議室
3. 出席者 ◇八千代市スポーツ推進審議会委員（計6名）  
若松 竜二 会長  
金子 隆男 副会長            田阪 朋子 委員  
中山 達雄 委員            平山 紀子委員  
榊原 伊織 委員  
◇事務局（計5人）  
教育長                    嶺岸 秀一  
教育次長                石原 雄二  
文化・スポーツ課      課長 大野 光弘  
主査 清宮 孝紀  
主査補 綿 嶺友（進行）
4. 公開・非公開 公開
5. 傍聴人 0人（定員5人）
6. 会議要旨
  - (1) 開会
  - (2) 教育長挨拶
  - (3) 委員及び事務局紹介
  - (4) 議題 会長及び副会長の選出
  - (5) 報告 八千代市スポーツ推進計画の進捗状況について
  - (6) 閉会

## 【開会】

司会

それでは定刻になりましたので始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

ただ今より、令和6年度第2回八千代市スポーツ推進審議会を開催いたします。

始めに、本日の資料の確認をさせていただきます。

本日の資料といたしまして、会議次第、八千代市スポーツ推進審議会委員名簿、座席表、資料「第3期八千代市スポーツ推進計画の主な進捗状況」、参考資料「第3期八千代市スポーツ推進計画」です。以上でございますが、配布漏れ等ございませんでしょうか。それでは、お手元の会議次第により、会を進行させていただきます。あらためまして、ただ今より、令和7年度八千代市スポーツ推進審議会を開会いたします。では、お手元の会議次第により、会を進行させていただきます。始めに、嶺岸教育長よりご挨拶を申し上げます。

## 【教育長挨拶】

皆様、こんにちは。教育長の嶺岸でございます。

本日は、お忙しい中、令和7年度八千代市スポーツ推進審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。この度は、八千代市スポーツ推進審議会委員をお引き受けいただきまして、感謝申し上げます。これから2年間、本市のスポーツ推進のためにご尽力をお願い申し上げます。

最近のスポーツ分野では、世界の大舞台で日本人選手の活躍する姿が、毎日のようにメディアを賑わせております。特に一昨年のパリオリンピックにおいて、本市出身の柔道女子48kg級で角田夏実選手が本市初の金メダル、スポーツクライミング男子ボルダー&リードで安楽宙斗選手が銀メダルを獲得する快挙を成し遂げ、日本中に勇気と感動を与えてくれました。

両選手の全力のパフォーマンスは、人々のスポーツに対する意識を高めたとともに、「する」スポーツだけではなく、「観る」スポーツや「支える」スポーツといった様々な関わり方により、多様な人のスポーツに親しむ機会を増やしました。

人生100年時代の基盤は、一人一人の心身の健康です。教育委員会では、令和7年3月に、「市民の誰もが、健康で活力に満ちたスポーツのまちづくり」を基本理

念とする第3期八千代市スポーツ推進計画を策定しました。計画の推進に際し、「競技力の向上」、「関係団体との連携」、「スポーツ施設の管理・運営」の三つを柱に据え、市民の皆様が生涯にわたって心身ともに健康で豊かな生活を送ることを目指し、さらなるスポーツの推進に取り組んでいきます。

本日のスポーツ推進審議会では、本計画策定後のスポーツ推進、スポーツ施設の整備など、スポーツ活動に関する本市の現状を報告させていただきます。その中で、皆様には様々なお立場から忌憚のないご意見をいただき、今後のスポーツ推進に繋がっていきたいと考えております。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

#### 【委員及び事務局紹介】

司会

それでは次第の3、「委員及び事務局紹介」に移ります。

本日は、新委員になり、初めてのスポーツ推進審議会でございますので、名簿順に一言ずつ自己紹介をお願いしたいと思います。なお、大賀委員、平澤委員、森永委員、豊永委員ですが、本日は所用のため欠席のご連絡を受けております

それでは委員のご紹介をいたします。

若松委員、お願いします。

若松委員

若松です。どうぞよろしくお願いいたします。

司会

金子委員、お願いします。

金子委員

金子です。よろしくお願いいたします。

司会

田阪委員、お願いします。

田坂委員

よろしくお願ひいたします。

司会

中山委員，お願ひします。

中山委員

社会福祉士です。よろしくお願ひいたします。

司会

平山委員，お願ひします。

平山委員

短期大学で講師をしています。よろしくお願ひいたします。

司会

榊原委員，お願ひします。

榊原委員

よろしくお願ひします。

司会

ありがとうございました。続きまして，事務局の紹介をさせていただきます。

教育長嶺岸でございます。教育次長 石原でございます。文化・スポーツ課長 大野でございます。文化・スポーツ課 スポーツ推進班主査 清宮でございます。

最後に，わたくしは本日の進行をさせていただきます文化・スポーツ課綿でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは，このあと議事に入らせていただきますが教育長におきましては，公務のため，ここで失礼させていただきます。

## 【議題】

司会

続きまして、議題に入りますが、今回の審議会は、委員が改選されてから初めての会議であるため、会長が選出されるまでの間、引き続き私の方で進行させていただきます。

本日の出席委員は 6名であり、委員の半数に達しておりますので、八千代市スポーツ推進審議会条例 第5条第2項の規定により、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。

なお、本審議会は、「八千代市審議会等の公開に関する要領」に基づき、公開の会議となっております。また、会議録作成のため、会議の状況を録音させていただきます。

それでは、本日の議題であります「八千代市スポーツ推進審議会会長の選出について」に入ります。

本審議会の会長の選出につきましては、「八千代市スポーツ推進審議会条例」第4条第1項により、「審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。」と規定されております。

また、第5条第1項により「審議会の会議は、会長が招集し、会議の議長となる」と規定されております。以上のことから、会長の選出をお願いしたいと思いますが、どなたか立候補あるいはご推薦いただけますでしょうか。

田坂委員

はい。

司会

田坂委員どうぞ。

田坂委員

八千代市スポーツ協会の副会長であり、八千代市のスポーツ推進に精通している 若松委員を推薦いたします。

司会

ただ今、田阪委員より、若松委員を推薦するご意見がございましたが、いかがでしょうか。

(異議なし)

司会

それでは、若松委員、ご推薦をお受けいただけますでしょうか。ありがとうございます。一言ご挨拶をいただき、引き続き議事進行をお願いいたします。

若松委員

それでは、委員の皆様にご協力を賜りながら、会議を進行してまいりたいと思います。よろしくをお願いいたします。皆さんはですね、せっかく、参加していただいておりますので、いろんなですね、ご意見を出していただいて、活発な会議になるように、よろしくお願ひします。

引き続き、議題の「八千代市スポーツ推進審議会副会長の選出について」ですが、皆様のご異存がなければ、私から指名させていただきたいと存じますが、いかがでしょうか。

ありがとうございます。それでは、長年スポーツ推進委員を務めていらっしゃる金子委員に副会長をお引き受けいただければと考えております。金子委員いかがでしょうか。

金子委員

はい。お引き受けします。

司会

ありがとうございます。それでは、金子副会長より一言ご挨拶をお願いいたします。

金子委員

はじめまして、審議会副会長に推薦されました金子と申します。まだまだ分からな

いことばかりなので、皆さんと一緒に進めていきたいと思います。これから、どうぞよろしくをお願いします。

### 【報告事項】

若松会長

金子副会長ありがとうございました。それでは早速ですね報告事項に入って参ります。「第3期八千代市スポーツ推進計画の主な進捗状況について」に移ります。事務局より説明をお願いします。

清宮主査

それでは、「第3期八千代市スポーツ推進計画」の主な進捗状況についてご説明いたします。私の方から資料といたしまして、第3期八千代市スポーツ推進計画の概要ということで、この横刷りの資料ですね、これに沿って説明させていただきます。こちらの計画なんですけども、当初ですね平成25年3月に第1期目を策定し、スタートしました。現在は3期目となる計画なんですけども、令和7年3月に策定してまして、今年度4月より計画がスタートしております。

本日はですね、この計画に基づきまして現在本市が行っている、スポーツ活動につきまして、それぞれご報告させていただきます。

先ずですね計画の期間なんですけども、下段にも書いてありますけども、今まではですね1期目、2期目と4年とですね短かったのがありまして、今回はより長期的な視点から取り組んでいこうということで、他の計画との兼ね合いもあるんですけども、一応6年間で終期は令和12年度と長めに設定しております。

計画策定時に際しては、この前の委員さんにご審議いただいたんですけども、今回は皆さん初めてということですので、簡単にどういった経緯でできたのかご説明しますと、この計画策定に際しましては、住民基本台帳からですね、無作為に抽出した18歳以上の市民3千5百名にアンケートを郵送しまして、約1千200名の方にご回答いただきまして、その結果を参考にいろいろ指標ですとか項目の設定をしております。

中身に入ります前にですね、ちょっと計画の指標のところをご説明したいんですけども、第3期八千代市スポーツ推進計画ということで、前に写真が載ってる計画の

19ページをお開きください。こちら計画の一番重要なところになりますけども、当然その効果を明確に把握しなければなりませんので、その辺を数量的な指標を設定しまして、この目標達成を目指していこうというものです。

後ほど詳しくご説明いたしますが、2, 3, 4頁とペラペラめくっていただいでよろしいでしょうか。ご覧のとおり本計画は、「スポーツ活動」、「スポーツ環境」、「スポーツ施設」の大きな視点でそれぞれ体系立てております。

それぞれの項目ごとに赤い星マークが載っていますが、「競技力の向上」、「関係団体との連携」、「スポーツ施設の管理運営」の三つを特に重点的に取り組まなければならない事業として掲げております。

目標値の設定の説明をしたいと思います。

「週1回以上のスポーツ実施率」についてですが、令和元年度の36.6%のところ、令和5年度は58.4%と21.8%上昇しております。

分析すると、令和2年度の新型コロナウイルス感染症の影響による、自宅待機、テレワークなどをする人が増えたことにより、どちらかという団体などでバスケットを集まって球技をしたりすることができなくなったため、個人で皆さんが自宅で簡単な運動をする人が増えたためと分析しております。前回の数値では令和元年度から令和6年度までで毎年4%上昇している計算となります。

今後も4%ずつ増える見込みはありませんが、オリンピックのメダリストが出たことによるスポーツ熱の高まりも考慮し、毎年2%ほど増加すると想定しております。

「スポーツ推進委員依頼受講者数」についてですが、前回は、講座数が指標でしたが、指標としてより適切に達成度が図れるよう今後は講座の受講者数で設定しました。令和元年から令和5年度の4年間、途中コロナにより開催が中止されることもありましたが、4年間で56人増加しておりますので、1年間でおおよそ14人増えています。今後も毎年15人増えるであろうと想定して、1,230人と設定しております。

最後に、「体育施設年間利用者数」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度以降数値が伸び悩んでいますが、総合運動公園のテニスコートの8面人工芝化や市民体育館改修工事もあるため、希望的観測を含め、あくまで目標値ですので、今後2,500人ぐらいは年間増加すると想定し、75万人を設定しております。令和5年度の施設の稼働率 市民体育館 主体育室 88%、柔道場

66%、総合運動公園庭球場 70%、総合グラウンド 66.6%ですので、まだ、数値的には延びる可能性はあると考えております。なお、いずれも目標年限が令和12年と計画期間が6年と長いため、数値については途中、必要に応じて見直しができるものとしします。

以上で指標及び数値の説明を終わらせていただきます。

では、具体的にそれぞれ中身を見ていきます。

5頁をご覧ください。「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」ですが、先ほどアンケートの説明をさせていただきましたが、高齢者は健康維持のためにウォーキングなどを行っている反面で、「身近に適切な場所がないから」などの理由によりスポーツをしていない人も多いという結果でした。それを解消するための主な取り組みですが、後ほどスポーツ推進委員のところで詳しくご説明しますが、本日は金子委員、田阪委員がいらっしゃいますが、スポーツ推進委員の皆様のご協力により、高齢者からの依頼を受けた際は、フロアカーリングやウォーキング等の講座を開催しております。

また、現在施設の管理は指定管理者といたしまして、例えば市民体育館などの管理・運営は市の職員ではなく、民間の会社なり団体をお願いしていますが、その施設管理者とも連携し、写真にありますように、市民体育館や勝田台、八千代台近隣公園小体育館において、健康体操やヨガなどの教室を開催しております。

これらの活動は、健康維持や介護予防に有効であるだけでなく、生きがいや社会参加に繋がっていくことから、今後も、継続できればと考えております。

続いて6頁をお開き下さい。

多様性を認め合うまちの実現ということで、「共生社会」とは、これまで必ずしも十分に社会参加できる環境のなかった障害のある方をはじめ、配慮が必要な人々が積極的に参加していくことができる社会です。

スポーツにも、ジェンダー平等をはじめとする幅広い社会課題の解決に寄与する力があると期待されています。

これからは、スポーツに親しむ場においても、障害の有無にかかわらず、スポーツができる環境を推進していくことが求められます。主な取り組み内容としては、本市で一番大きなスポーツイベントですが、ニューリバーロードレース in 八千代がございます。本大会は市内のマラソン愛好者などによる実行委員会で大会の企画・運

営がなされており、親子ファンランから10マイルまでの種目が設定されたマラソン大会で毎年12月に行われております。

住宅街を抜け、田園風景、川沿いの遊歩道を走る、景色の変化にとんだ、新川遊歩道を主としたコースとなっております。また、写真は障害のある方も参加できるポッチャというスポーツですが、このようなスポーツの用具の貸出しも文化・スポーツ課窓口で行っております。

続いて7頁をお開きください。

現在、市や教育委員会が主催するスポーツ教室やスポーツ大会のほか、市民スポーツ大会や市民レクリエーション大会、また、大規模なスポーツ大会として、先ほどご説明させていただいた、ニューリバーロードレース in 八千代等が開催されており、たくさんの市民が参加しています。

主な取り組み内容として、ニューリバーロードレースですが今年度で26回目の大会となり、全国各地から約3千人のランナーが集まります。子どもから高齢者、障がいをお持ちの方まで誰もが気軽に、多様なスタイルでスポーツに参加できることから、今後も魅力ある大会を開催してまいります。

続いて8頁をお開きください。

重点事業の一つ目となります、「競技力の向上」です。パリオリンピックでの角田選手、安楽選手のメダル獲得のように、本市にゆかりのある選手が、全国大会や国際大会及びオリンピック・パラリンピックで活躍することは多くの市民に夢や感動を与えるとともに、スポーツへの関心・意欲を高めることにもつながります。

主な取り組み内容としては、今年度は6月に日本生命との包括連携協定の中で、千葉ジェッツの選手によるバスケットボール教室を行いました。

また、柔道の金メダリストによる角田夏実柔道教室を八千代警察署の柔剣道場をおかりして小学生を対象に開催いたしました。近年において、柔道やスポーツクライミング以外にも、本市にゆかりのある方が広域な大会で活躍しております。

選手たちの活躍は市民にとって誇りであり、市民のスポーツ活動への関心や意欲を高めることにもつながります。今年度は、本市にゆかりのある選手を支援するための奨励金制度の検討を行いました。

続いて9頁をお開きください。スポーツ指導者の育成としては、八千代市スポーツ協会との共催で、スポーツ指導者講習会を毎年2回開催しております。令和6年度

は、「スポーツと貧血」に関する医学的な講演会や「スポーツと性的マイノリティ」の講演会を開催しました。

続いて10頁をお開きください。

スポーツ基本法により各市町村の教育委員会は、スポーツ推進を図るためにスポーツ推進委員を非常勤として委嘱することとなっております。市民を対象としたニュースポーツの依頼講座や各種主催事業等スポーツの推進・普及を目的とした活動を行っています。

主な取り組みとしては、文化・スポーツ課として年間30回程度の依頼講座を周知したほか、写真にあるようなフロアカーリング大会やソフトバレーボール大会当日の支援を行ったほか、長年買い替えができなかったスポーツ推進委員のユニホームを購入しました。

続いて11頁をお開きください。

重点事項二つ目の関係団体との連携についてお話しします。先ほどのアンケート結果においても、個人でできるスポーツが増えている反面、競技スポーツの割合が減っている傾向にありましたので、誰もが気楽にできるスポーツ活動ができるよう、今後も八千代市スポーツ協会、レクリエーション協会をはじめ様々な団体、また、施設を管理している指定管理者と連携して、スポーツに縁のない人も気楽に立ち寄れるようなイベントを企画していきます。主な取り組みとしては、市民スポーツ大会、市民レクリエーション大会を毎年実施しております。

続いて12頁をお開きください。

総合型地域スポーツクラブとは、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブです。子どもから高齢者まで、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できるという特徴を持ち、地域住民により自主的に運営される地域密着型のスポーツクラブのことです。

本市ではゆりのき台地区の「八千代中央コミュニティスポーツクラブ」、勝田台地区の「八千代ファミリアスポーツクラブ」、大和田地区の「八千代みんな BUKATSU」が活動しておりまして、活動場所は市内の有料公園施設や小中学校等で、活動内容は、バスケットボール・ミニバスケットボール・テニス・フットサル・バレーボールなどです。市の主な取り組みとしては、クラブが学校施設を使用する際の優先予約などの調整を手助けしております。

続いて、13頁をお開きください。

スポーツの情報の収集と提供ですが、市ホームページや広報やちよを通して、スポーツ大会の開催や結果を公表しております。写真は昨年6月に本市出身選手がチアリーディング世界大会に出場した際の市長表敬訪問の写真で、結果は準優勝ということで「広報やちよ」に載った記事でございます。

続いて、14頁をお開きください。

市民が気軽にスポーツに楽しみ、積極的にスポーツ活動を行うには、ハード面の基盤となるスポーツ施設の存在が不可欠です。現在本市には体育館や野球場・庭球場の他、総合グラウンドやスポーツ広場等、様々なスポーツ施設があります。

その中には老朽化した施設もありますが、市民がいつでも安心・安全にスポーツ活動に取り組むことができるよう、施設や設備の充実を推進することが必要となります。

主な取り組みといたしましては、令和6年7月より市民体育館の改修工事を開始し、リニューアルオープンは、今年、令和8年の10月頃を予定しております。

また、総合運動公園内の8面のコートについては、昨年3月に高齢者から子供まで安心・安全にプレーできるよう土のコートから人工芝に改修しました。施設の改修につきましては、今後も市民サービスへの影響を考慮した上で、八千代市にも様々な計画がございますが、本市の施設に関する計画との整合性を図りながら対応してまいります。

続いて、15頁をお開きください。

本市では、「スポーツ基本法」に基づき、学校教育に支障のない範囲で小・中学校の学校体育施設（運動場、体育館）の開放を行っております。

毎年多くの市民が利用してスポーツを楽しむ等、地域のスポーツ活動の場として重要な役割を果たしています。また、令和8年7月に中学校の各校体育館に空調設備が導入される予定です。それに向けて、利用団体の皆様から徴収する使用料の検討を行いました。説明は以上です。

若松議長

事務局から説明がありましたが、何か質問がある方、お願いします。

中山委員。

インフラの改修なんですけど、具体的には市民体育館のどこをどう改修しているんですか。

清宮主査

市民体育館のですね、基本的に屋根の張替えですとか、あと大きなところだとアリーナですね、バスケットボールとかをやるアリーナっていうのがございますけども、そちらの天井や床の張りかえですとか、あと2階に観客席がございますけども、そちらの入れ替えなど、また細かなところだと例えば体育館の職員がいる事務室の中の机ですとかそういったのを入れ替えたり、柔道場などの改修そういった工事を今進めているところです。

若松議長

はい。よろしいでしょうか。他いかがですか。どうぞお願いします。

榊原委員

最初に聞けばよかったかもしれないんですが、そもそものところをお伺いしたくて。今日その進捗というところで、お話いただきましたけど。

これについて何か、どういった意見を言っているのか、わからないんですけど、何か計画の妥当性を考えるのか、聞いて分からないとこだけ質問するものなのか。

資料も結構ボリュームはあるんですけど。

例えば講座の内容とか、なんか年間30個ぐらいあるっていう記載ですけど、実際どういう講座をやられてるとか、その講座が本当にいいのか悪いのかとかそういった内容を考えることなのか、30回が妥当なのかといっても何をやってるかわからないのに30回かどうかっていうのがちょっとわかりづらいなっていうところなんですけれども、どういった感じでこの会に参加すればいいんですかね。

清宮主査

計画の中身につきましては、前委員さんに審議会を2度、3度ということで、ご審議いただいた上で作成しております。ですので、細かいところの妥当性というより

も、どちらかという大きな視点でとらえていただいて、ちょっと気が付いたところをご指摘いただければと思います。

一応今回あくまでこの計画が令和7年の4月から始まっておりませんが、まだ始まって1年経たないってということもあるんですけども、4月から今まで期間にも様々なスポーツイベントやスポーツ推進に関わる行事をしてきましたので、本日はその間のご報告をさせていただいて、何か気になる点がありましたら、各委員さんそれぞれの立場で、スポーツに関わる思いを何でも良いので、ご参考までにご意見いただけると助かります。

石原次長

今説明があったとおり、途中経過で年度の途中ですので、皆さん初めての委員さんということもあり、計画の説明と今の進捗状況はこうだよという説明を兼ねて、今説明したほうがいいのかなあというところで、あと気になる点とか、あと例えばわからないというところがあれば質問をお受けして、それを説明していったほうがいいのかという流れにはなってます。

あくまでも今回審議というよりは、計画が前年の3月から策定されて、その計画に基づいて市の方で事業を行っているんですけど、それが今ここまで進んでますよというとりあえずその報告と、皆さんが、今スポーツ関係の事業で、皆さん分かっている人もいらっしゃると思うんですけど、その事業でどんなものをやっているのかという分わからないところもあるかと思うので、今文化・スポーツ課が中心でやっているんですけども、その事業の説明も兼ねて、今わからないところとか確認したい事項があれば、質問をお受けするという流れになっています。

若松議長

よろしいですか。

榊原委員

普段から活動されてる方や市民ってということで、私結構それでも興味があるので、情報得てる方だと思ってるんですけど、やっぱり見てて、こんな講座聞いたことないとかあるんですよ。今の説明の内容だけで理解をして、どこがどうだとか進

抄報告ということであったとしても、何かコメントはなかなかしづらいなあというふうに思います。

単純に気になる場所ですと、スライドの12枚目とかで市内の3団体が活動しているとのことですが、どうやってこの3団体が選ばれたのかなとか、そういうような部分も多少はあるんですけども。なかなか、全体を通して、どういったといったことは。

#### 平山委員

まず最初に、私も何をあれなのかっていうところがわからなかったのが6ページに書いてある定義づけをちょっと見せていただいたんですね。本計画におけるスポーツの定義づけというところで、市民の誰もが楽しめるスポーツを推進していきますというところ、ここをこう考えていくと、推進していくって言っても、多様性の問題であったりとか社会情勢の問題であったりとかっていうところを多分上げてきてらっしゃるといふふうには、感じております。

本当に私も、一般市民として考えると、まさに8ページに書いてある余暇の時間が、社会人としてというか、スポーツの楽しみ方になってくるんだと思うんですね。

そうするとこの下に書いてある気軽にスポーツをに親しめるような、ただ、スポーツをやるとなるとそれなりのお金がかかったりとか、になると思うんですよ、道具をそろえたりとかって、例えば走るだけならお金がかからないんじゃないかって思うかもしれないけどやっぱり、そうではないですよランニングシューズをそろえたりって、やっぱりそういうところで考えていくと、この余暇の時間をどう過ごすかっていうところで、スポーツの推進を考えていかなければならないのが一番なのかなって、そうすると書いてあったのが、運動不足解消とか健康づくりであったりとか、どこかに書いてあった階段の上りおりとか、市民会館を綺麗にしますとか、それでスポーツが推進できます、講座を開きます、だからスポーツが推進されます。これではただの、何ていうんだろうな、環境づくりなだけになってしまう。じゃどう楽しめるのか、例えばちょっとした公園にちょっとこう歩けるような、体が不自由な方がちょっと手すりを持って歩けるとか、そういう小さなことで推進ってされていくんじゃないのかなって、やっぱり、見るべきところって一番、そういうところを見ていくのが、スポーツ推進に繋がっていくのかなあと私は思って話を伺って

いたんで、まさに、15ページに書いてある、いつでもどこでも誰でも、スポーツという言葉になんかとらわれすぎでしまわずに、体を動かす、体を動かすことの楽しさに注目をしていきながら、そこにスポーツっていうところが合致していくっていうのが、何か流れになっていけたら、何か皆さんが、体を動かすってことはやっぱり今後この社会でいうとね、やっぱり、少子高齢化のところに繋がっていくのかなと、高齢化はもうおっしゃる通りに、体が不自由になって高齢化ってなっていくっていうのではやっぱりいけないと思うので、健康っていうところでみていければいいのかな、なんていうふうには感じながら、伺ってました。

若松議長

ありがとうございます。事務局どうぞ。

石原次長

今お話があった通り、ハード部分とソフト部分っていうのがあつたりしますが、ある程度の方はスポーツ、体育館を利用する方はスポーツの活性化はするけれども、大部分の方は、体育館を利用する人とは限られませんよと、講座をやったからっていった大部分の人が参加するもんでもないと、その中で身近に皆さんがちょっとした運動ができるものっていうところも考えていかなきゃいけないよという解釈でいます。そういうところも含めて皆さんのご意見が、非常に貴重なご意見だと思うんでちょっと我々も手探りで今、どんなことを活性化するためには、どんなことをやっていけばいいのかと、意見を聞きながら、市でできることはまずやっ払いこうという流れの中でハードコート、要はテニスコートを整備したり、体育館の改修、使いやすさをまずやっ払いこうやっ払いこうと、その中で今、スポーツ推進員さんの力をおかりしながらもそうなんですけど、市内全域の皆さん市民の皆様が、スポーツをやることによって健康になって幸せになっていただくっていうので、どうやっ払いこうというところを手探りでやっていると思うんですね。

あと高齢者の、今八千代市も今まで若い世代の人が多かったのが、どんどん高齢化していくっていう事実もあつたりとか、そうすると、いかに短い時間でもちょっとしたことでもいいんですけど、何かしらきっかけを作りたいっていうのもあつて、そういうのが今おっしゃられた手すりとか、ちょっとそういうのもいいんじゃない

のっていうのもあると思うんですね。そうすると、あとは例えば役所でできる部分とあとは皆さんに協力、要は、民間の事業者がとかいろんなとこに協力してもらおうとかあとは市の中でも、例えば、教育委員会だけじゃなくて他の部局にも協力してもらいながらいろんなことをやっていくっていうふうに思ってたのかなということ、ちょっと今、ご意見として聞かせていただいたんですけども、その辺連携しながらですね、何かこうやっていければなということでは、ちょっと考えてます。

若松議長

ありがとうございました。他いかがですか。お願いします。

中山委員

具体的にですね私なんかも公民館でやってる、ボッチャとか、フロアカーリンなど時々参加してるんですけど、やっぱりああいう近場の公民館で、そういう運動が軽くできるっていうのは、すごくいいと思いますんで、さらに続けていただけたらなと思いました。

若松議長

はい。ありがとうございます。よろしいですか。

平山委員

あと、スポーツをするっていう、この推進ってするっていうことだけではなくって、見るとか、親しむってこと、私も今、娘が某大学に通ってて、ラグビーが強かったりとか、駅伝が強かったりとかっていうとやっぱりそういうところを見に行ったりとか、こうして楽しんだりとかしてるところがあるので、そういう何かこう、市を挙げてこういうものを親しめるようなそれもスポーツの1つだし、あとはここにも出てきたとおりに千葉ジェッツさんなんか見に行ったりとかする等、応援してるだけで、楽しくなって、やってみたいとか楽しみたいとかってやっぱりそういう、こう見て楽しんだり親しむっていう言葉で、スポーツに多く精通していけたらもっともっとう市民の皆さんとかいうか、みんなが体を動かすことの楽しさが理解できてくるのかなあとか、思えるのかなあとかっていうのは、感じるところで、

なんか、私たち小さい頃、プロ野球選手が来るだけで、八千代の野球場にプロ野球選手が来るっていうと、もう父母もう家族挙げて見に行っただけの選手だ、あの選手だとかって、そんな小さなことからスポーツとかの楽しいっていう言葉が出てくるのかなあとか、スポーツに親しもうとかって言葉が出てくるのかなっていうのはすごく感じるころなので、そういうところもスポーツ推進で行っていきけるハード面も大事だし、ソフトなところも大事だしっていうところで、見てもらえるといいのかなと、今聞いてると榊原委員が言ってたとおり、何をどうしてるのかっていうところだけを説明を聞いてたので、何となく取り残されてるみたいな、委員としては多分取り残されてしまってる、そういうところも説明いただけたら、すごくわかりやすいのかなっていうのは感じました。

若松議長

はい。ありがとうございます。はいどうぞ。

石原次長

今教育長から冒頭に話があった通り、オリンピックをきっかけとして、今まで見るとか支えるっていう感覚はあまりなかったところに重点を置いてたりしてたんですけども、今そのオリンピックもきっかけで、先ほど清宮の方からも説明があった通り、ニューリバーロードレースというのがあってあれが、まさに八千代市での、要はボランティアの方々の協力をえながら、支えるスポーツとしても成り立ってるんなものなのかなということで考えてます。

あと今考えてるのが、今お話があった通りスポーツ選手が来たりするとそれだけで、テンションが上がったりとか皆さん活性化していくんじゃないかという意見もあるんで、スポーツチームと包括協定結べないかなということで今検討してる場所ではあります。

今後そういうことができれば、例えば、その方たちが町に来てもらって、子供たちに教えていただくだけでそこで試合やってくれるだけでも、活性化したりとかあと地元のチームが、何かスポーツやってると、どんどん応援したくなってくるのもあるのかなと思います。今、そういうことができないかなということ、このスポーツ推進計画の中でも位置付けはありますが、先ほどご説明したこの計画の11ページの

競技力の向上のところですね。このトップレベルの競技試合を観戦する、見るスポーツを推進しますですか、あとはですねこの民間協企業との包括連携協定を活用したスポーツ教室と記載があります。

若松議長

具体的なチーム名とかそういうのはあるんですか。

綿主査補

今こちらで考えておりますのが、ビックブルースというラグビーチームですね。

はい。こちらもともとIBM、野村グラウンドにありましたところで活動されていたチームなんですけども、ちょっと企業スポーツからは撤退してしまいましたが、引き続き今も一般社団法人でされておまして、今年度につきましては、ホームゲームとして総合グラウンドでですね公式試合、関東のまだ地域リーグではあるんですけども、トップリーグを目指してですね、これからも、成績の方を上げていきたいというチームがまず1点ございます。

また、ⅢXⅢというバスケットボールの3対3の形式のオリンピックで採用されて地名認知度は少し上がったのかなというところですけども、そちらのチームで八千代フラッグスというチームが八千代にございます。

若松議長

ありがとうございます。その他いかがですか。はい。どうぞ。お願いします。

榊原委員

すいません。スポーツ推進というところで、ちょっと先ほども話しましたが、私あんまり目にとまってないことが多いんですよ。なんか、計画の方の19ページの受講者数で年間10人ぐらい増えるというのが、これも本当に推進なんですかねっていうところが気になったりとか、個人的にも体育館とかグラウンドかりるにあたって、やっぱりチーム登録してかりれるようになるまで、結構数ヶ月かかるじゃないですか。そこから予約取るのもう予約うまってとか、なんかそういう、何かもちろん体育館が綺麗になるっていうのはいいことだと思うんですけど、そういう

システムのなところの推進みたいなのも、ここには含まれるんですか。

清宮主査

はい広い意味でそういった施設利用者の利便性向上ということで、そういったことも含まれています。

榊原委員

なんか、そういう意味だと今日のどこにもそういう周知させることだとか、やっぱりそういう、何か今もある、県のシステムかもしれないですけど、システムの方の改善とかそういうところも計画に入ってたほうがいいんじゃないかなと思います。

若松議長

はい、そこについて事務局。

石原次長

すいません。ご意見として、今スポーツを推進するってことは、やっぱり利用しやすいっていうのも当然、予約を取りやすい、そういうのも当然入ってくる内容なのかなと思います。ただ、推進計画については今一旦これで作り終わってる部分もありますので、要はその部分も検討していったほうがいいんじゃないかということでとらえますけれども、そうですね今言ったように、施設の利用とか今学校開放とかで皆さん使われてたりとかもありますので、体育館もそうですし、総合グラウンドもそうですし、テニスコートとかもそうですので、じゃあどうすれば皆さんが使いやすいのかっていうところも、やっぱり我々の方で、使いやすさというのは、今後向上させていかなきゃいけないって部分としては認識しております。

若松議長

よろしいですか。はい。他はいかがですか。はい。ないですか。ではちょっと、これからは離れますけど、さっき話がありました見るスポーツっていうことありましたけども、それは本当に大事なことだと思うんですね。今ある市民体育館ですけども、観客いくらぐらい入るんでしたっけ。

清宮主査

バレーボールコート三面のとれる主体育室には2階部分ですが、1,480席ございます。

若松議長

本当に考えたときに、やっぱりあそこで音楽コンサートとか、プロの歌手を呼んでコンサートもできるようなそういう施設とか、そういうことも将来的な構想としてね、考えていかないと、やっぱり先ほどもあったけど、見て楽しむとか、ボランティアで関わって楽しむとか、やっぱりね、そんなことも、まだ土地とかいっぱいあるじゃないかと思うから、どっか構想の中に、そういうのも入れてったほうがいいのかなっていう感じはします。いいんですよねこういう意見を言っても、スポーツ推進、文化ということでね、そういうことで、皆さんの方から、1つでも2つでもあったら、時間もありませんんで、お願いしたいと思うんですけどもいかがでしょうか。はい、どうぞ。

石原次長

今施設の利用の仕方っていうことが出たんですけれども、一応市のほうでホームページ作ってまして、それに沿っていくと意外とすっと入れていくことができるんですけど。皆さんちょっと慣れないとね、できないかもしれませんが。

皆さんパソコンができる方ならすっと入るんですけど、慣れないとちょっと不便かかっていうところは見受けられます。アクセスしてしまえば、それなりに、進めていくこと可能なので、ちょっと見てやっていただければありがたいかなと。以上です。

若松議長

はい。ありがとうございます。

今いろんな方、パソコンが得意な方苦手な方っていうのがいたりとかあったりとか、あと誰でもなるべく簡単に工夫をしていかなきゃいけないっていう認識ありますんで、すいません。パソコン得意な人は、確かにそういうふうにできたり、いろんな

意見ご意見というのは伺ってるところもあるんで、その辺も含めてちょっと検討していきたいと思います。

若松議長

はい。よろしいですか。でなければ私の方からですね、1つ、先ほどエンジョイフリーマガジンということでお配りをしましたけど、これスポーツ協会の方で、今年始めて作ったものでございます。八千代市は健康都市宣言ということでですね、それを謳っておりますので、スポーツを通じて健康づくりに寄与できないかなということで、いろんな民間事業者の方、例えばこれスポーツ施設だけではなくてですね、健康と栄養ということで、飲食店とかですね、そういうところはもう、ご協力をいただいておりますんで、これはニューリバーロードレースの参加選手にですね、お配りしたものでございますので、活用できればと思いますのでよろしくお願ひします。また3月14日ですが、中山カントリーのゴルフ場に協力いただいてですね、これからまた広報等に出ると思いますけども、ゴルフ場を歩いてみませんかというふうな、そういう事業も計画しておりますんで、ぜひ、参加をしていただければというふうに思いますんで、よろしくお願ひします。それでは、皆さんなければ、これで私の議長の任を解かせていただきますけども、よろしいでしょうか。

はい。じゃあ、事務局にお返しします。よろしくお願ひします。

進行

若松議長ありがとうございました。以上をもちまして令和7年度八千代市スポーツ推進審議会を閉会いたします。長時間にわたりましてのご審議、ありがとうございました。